

さぬき市 洪水ハザードマップ 北部

ルーツガーデン志度



【洪水浸水想定の特典条件】
 さぬき市洪水ハザードマップに表示している洪水浸水想定は、香川県が令和4年5月に公表した以下の2種類のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、最大となる浸水深を表しています。

- 津田川流域に24時間の総雨量744mm
- 鴨部川流域に24時間の総雨量739mm

令和2年9月作成のさぬき市洪水ハザードマップに掲載した洪水浸水想定区域より対象範囲がダム下流(前山ダム、門入ダム、大川ダム)まで広がりました。
 この浸水想定以外にも浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

- 施設等**
- 指定緊急避難場所^{※1}
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設^{※1}
 - 警察署
 - 消防
 - 防災機関(市・県)
 - 雨量観測所
 - 水位観測所
 - 危機管理型水位観測所
 - 河川カメラ(県)^{※2}
 - カメラ局(市)^{※3}
 - 臨時ヘリポート
 - アンダーパス
 - 高速道路
 - 国道・県道
 - 鉄道
- ※1 指定緊急避難場所は津波に対応した場所のみを、要配慮者利用施設は洪水時に避難が必要な場所のみを掲載しています。
 ※2 河川カメラは、かさねの防災Webポータル「かさねの防災」にてさぬき市防災情報システムにてカメラ映像を確認することができます。

浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 0.5m未満

過去の浸水実績

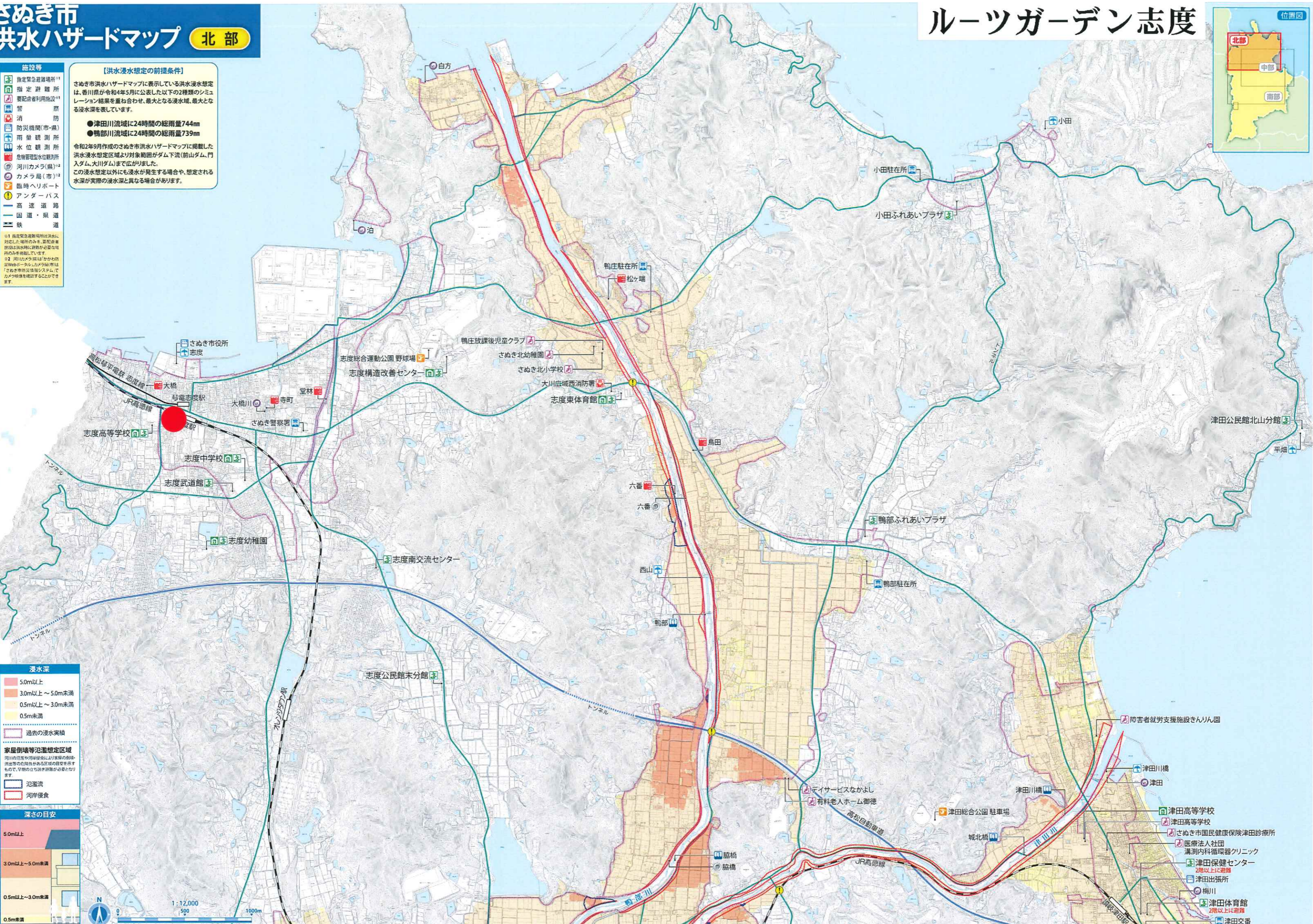
家屋倒壊等氾濫想定区域
 河川の氾濫や津波等により家屋の倒壊、流出等の危険性が想定される区域を示すもので、早期の立ち退き等が必要となります。

氾濫流
 河岸侵食

深さの目安

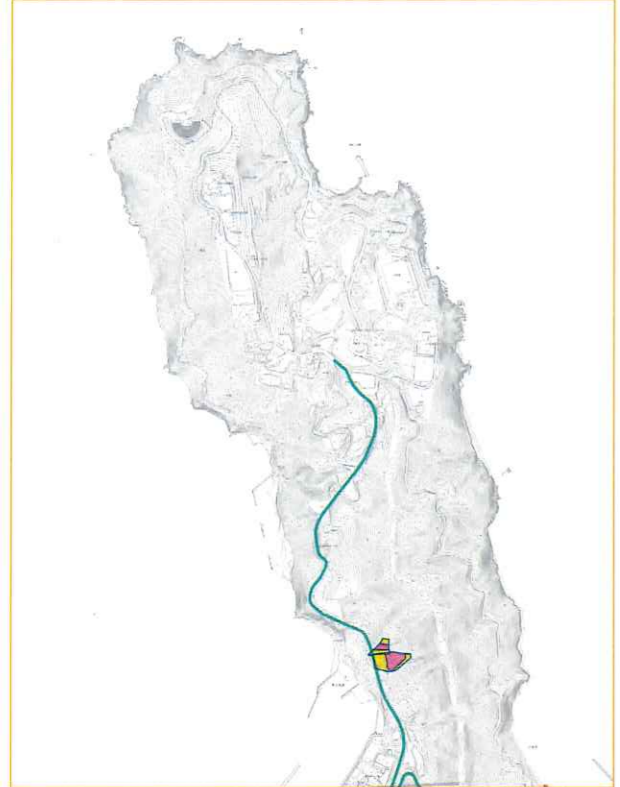
- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 0.5m未満

1:12,000
 0 500 1000m

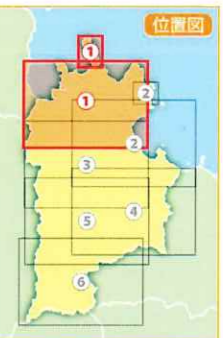


- 津田公民館北山分館
- 平畑
- 津田公民館末分館
- 志度南交流センター
- 志度幼稚園
- 志度武道館
- 志度中学校
- 志度高等学校
- 大川広域西消防署
- 志度東体育館
- 志度北幼稚園
- さぬき北小学校
- 志度総合運動公園 野球場
- 志度構造改善センター
- 鴨部放課後児童クラブ
- 鴨部駐在所
- 鴨部ふれあいプラザ
- 六番
- 六番
- 西山
- 鴨部
- 鳥田
- 松ヶ端
- 鴨部駐在所
- 小田ふれあいプラザ
- 小田駐在所
- 津田川橋
- 津田
- 津田川橋
- 津田総合公園 駐車場
- 城北橋
- 津田高等学校
- さぬき市国民健康保険津田診療所
- 医療法人社団 清洲内科循環器クリニック
- 津田保健センター
- 津田出張所
- 津田出張所
- 津田体育館
- 津田文番

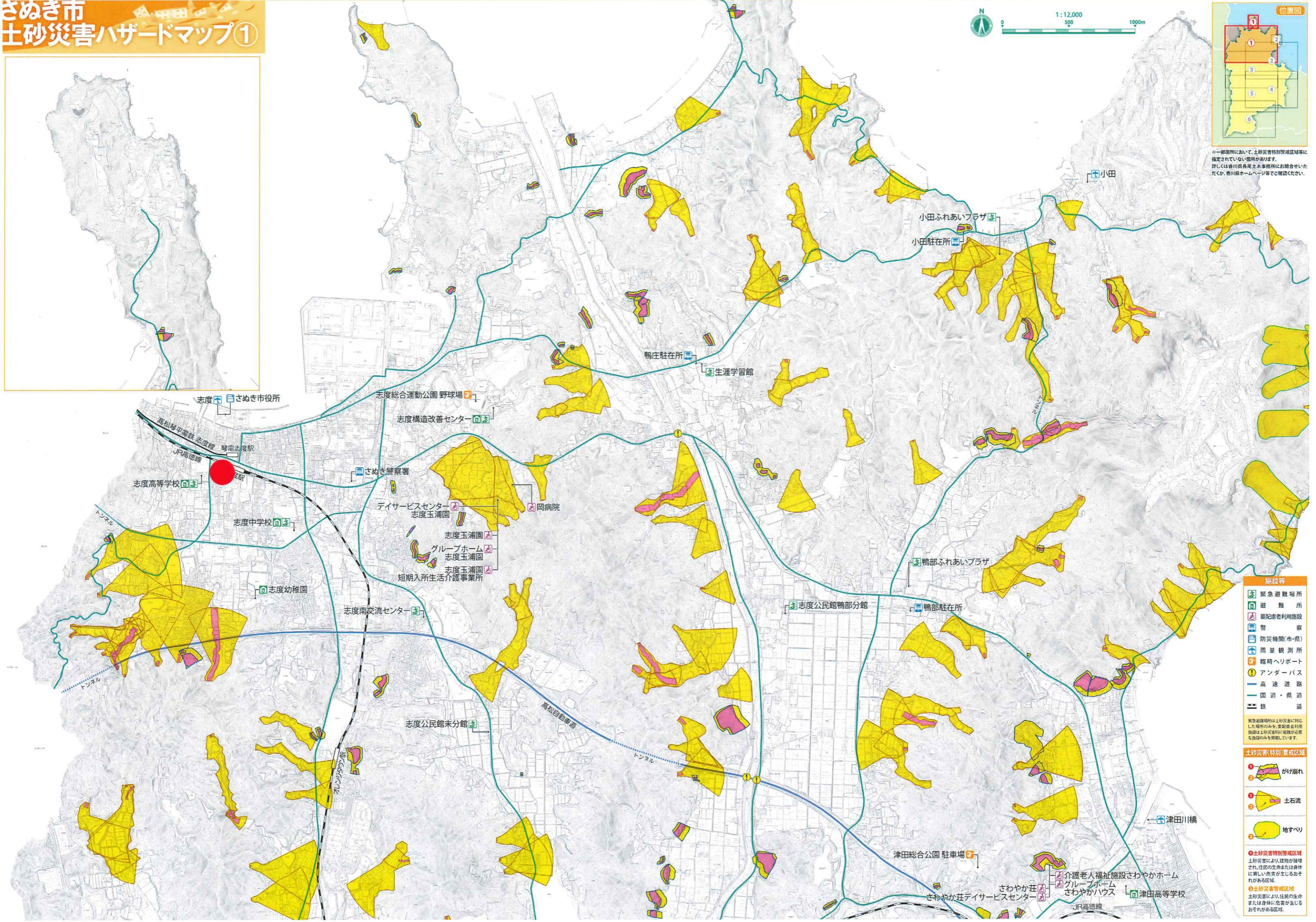
さめき市 土砂災害ハザードマップ①



1:12,000
0 500 1000m



※一部箇所において、土砂災害特別警戒区域等に指定されていない箇所があります。詳しくは香川県長尾土木事務所にお問合せいただくか、香川県ホームページ等でご確認ください。



施設等

- 緊急避難場所
- 避難所
- 要配慮者利用施設
- 警察 (市・県)
- 防災機関(市・県)
- 雨量観測所
- 臨時ヘリポート
- アンダーパス
- 高速道路
- 国道・県道
- 鉄道

緊急避難場所は土砂災害に対応した場所のみを、要配慮者利用施設は土砂災害時に避難の必要な施設のみを掲載しています。

土砂災害(特別)警戒区域

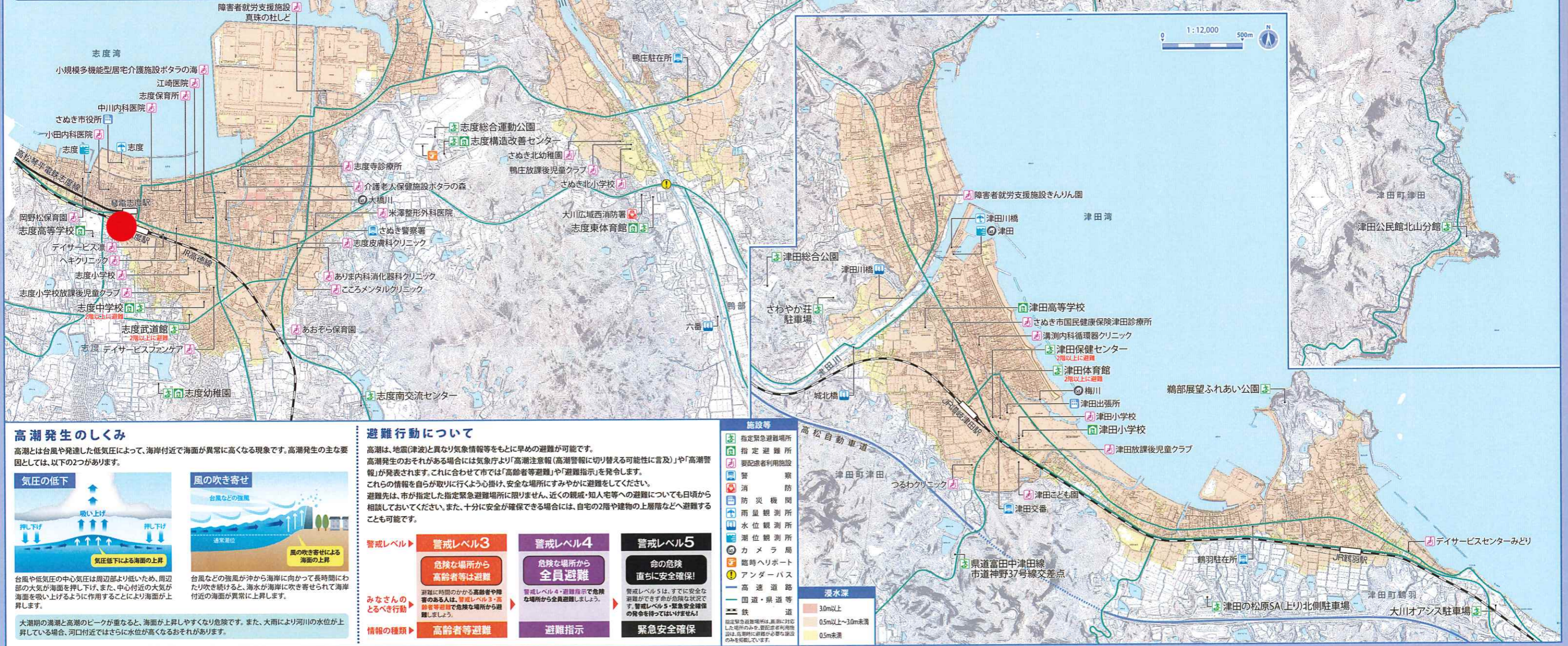
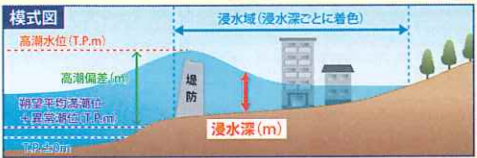
- 1 がけ崩れ
- 2 土石流
- 3 地すべり

土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物が破壊され、住居の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

土砂災害警戒区域
土砂災害により、住居の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。

【高潮ハザードマップについて】
 さぬき市では、平成16年の台風16号がもたらした高潮により、床上浸水などの被害が発生しました。
 このさぬき市高潮ハザードマップは、災害時に市民の皆さんがすばやく安全に避難していただき被害を最小限に抑えることを目的として作成したものです。
 ハザードマップでは想定し得る最大規模の高潮が発生した場合の浸水区域と浸水深を示しています。高潮発生のおそれがある場合は、このハザードマップを参考にして早めの避難をお願いします。

【高潮浸水想定的前提条件】
 ・水防法の規定により想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域と浸水の深さを示しています。
 ・最悪の事態を想定し、中心気圧は日本に上陸した歴代最大台風である「室戸台風（昭和9年9月）、移動速度は「伊勢湾台風（昭和34年9月）」により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとしています。
 ・この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深を抽出し示しています。
 ・台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、県管理河川のうち水位周知河川（津田川・鴨部川）については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
 ・高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
 ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水（内水）が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生した浸水深が深くなる場合があります。
 ・現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。



高潮発生のしくみ
 高潮とは台風や発達した低気圧によって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。高潮発生の主な要因としては、以下の2つがあります。

気圧の低下
 台風や低気圧の中心気圧は周辺部より低いため、周辺部の大気が海面を押し下げ、また、中心付近の大気が海面を吸い上げるように作用することにより海面が上昇します。

風の吹き寄せ
 台風などの強風が沖から海岸に向かって長時間にわたって吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられて海岸付近の海面が異常に上昇します。

大潮期の満潮と高潮のピークが重なると、海面が上昇しやすくなり危険です。また、大雨により河川の水位が上昇している場合、河口付近ではさらに水位が高くなるおそれがあります。

避難行動について
 高潮は、地震（津波）と異なり気象情報等をもとに早めの避難が可能です。高潮発生のおそれがある場合には気象庁より「高潮注意報（高潮警報に切り替える可能性に言及）」や「高潮警報」が発表されます。これに合わせて市では「高齢者等避難」や「避難指示」を発令します。これらの情報を自ら取りに行くよう掛け、安全な場所すみやかに避難をしてください。避難先は、市が指定した指定緊急避難場所に限られません。近くの親戚・知人宅等への避難についても日頃から相談しておいてください。また、十分に安全が確保できる場合には、自宅の2階や建物の上層階などへ避難することも可能です。

警戒レベル

警戒レベル1 みなさんのとるべき行動 高齢者等避難	警戒レベル2 危険な場所から高齢者等は避難	警戒レベル3 危険な場所から高齢者等避難 避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3・高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。	警戒レベル4 危険な場所から全員避難 警戒レベル4・避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。	警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保！ 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5・緊急安全確保の発令を受けては避けず！
情報の種類	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保	

- 施設等**
- 指定緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 警察
 - 消防
 - 防災機関
 - 雨量観測所
 - 水位観測所
 - 潮位観測所
 - カメラ局
 - 臨時ヘリポート
 - アンダーパス
 - 高速道路
 - 国道・県道等
 - 鉄道

情報伝達の流れ

さぬき市
 高齢者等避難
 避難指示
 緊急安全確保

音声告知放送
 防災行政無線
 コミュニティ放送（CATV）
 ホームページ
 登録制メール
 エリアメール・緊急速報メール
 広報車

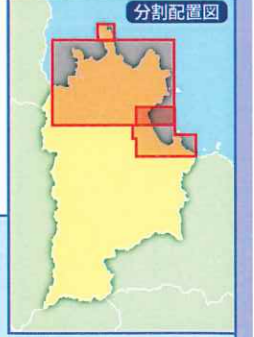
市民のみなさん
 災害の状況を確認し、最適な方法で情報を伝達しますので、全ての方法で必ず伝達されるものではありません。
 さぬき市のメール配信サービスや香川県防災情報メールへの登録が必要となります。

登録方法
 ① 右のQRコードを読み込むか、またはメールアドレス: ml@bousai-kagawa.jpへ空メールを送信してください。
 ② 折り返し、登録用メールが届きます。案内に従ってご登録ください。

さぬき市のメール配信サービス（安全安心コミュニティサービス）
 さぬき市が安全・安心を提供するために、避難情報や警報等を周知するためのメール配信サービスです。

香川県防災情報メール
 気象警報・注意報や土砂災害警戒情報、避難情報等がメール配信されるサービスです。

登録方法
 ① 右のQRコードを読み込むか、またはメールアドレス: ml@bousai-kagawa.jpへ空メールを送信してください。
 ② 折り返し、登録用メールが届きます。案内に従ってご登録ください。



さぬき市防災情報システム
 さぬき市では、台風などの大雨時に雨量計や潮位計の情報や、河川・港湾防炎カメラの映像等を見ることができる『さぬき市防災情報システム』の運用を開始しています。お住まいの近くの河川や雨量情報を取得し、避難等の判断にお役立て下さい。

インターネットで確認 → <https://sanuki.tenki.ne.jp/>
 テレビで確認 → さぬき市ケーブルテレビのデータ放送をチェック



さぬき市 津波ハザードマップ

SANUKI CITY TSUNAMI HAZARD MAP

2014年(平成26年)1月 発行



津波ハザードマップ

この津波ハザードマップは、香川県地震・津波被害想定調査により公表された南海トラフを震源とする地震により発生が予想されている最大クラス（※）の津波被害想定に基づき作成しています。



最大クラスの地震・津波とは、千年に一度あるいはそれよりもっと低い頻度で発生するが、発生すれば甚大な被害をもたらす地震・津波です。南海トラフで最大クラスの地震が発生した場合、さぬき市の最大震度は震度**6強**、その揺れは最大で約**4分間**続くことが予想されています。

被害想定

市内の主な港の最高津波水位



浸水面積 浸水の深さが1cm以上となる地域の面積

528 ha

志度港における海面変動開始時間等（津波の影響がでるまでの想定時間）

※想定時間はあくまで目安の時間であり、想定時間まで最大波が到達しないということではありません。



津波被害想定条件

香川県地震・津波被害想定調査の津波被害想定は、次のような条件でシミュレーションしています。

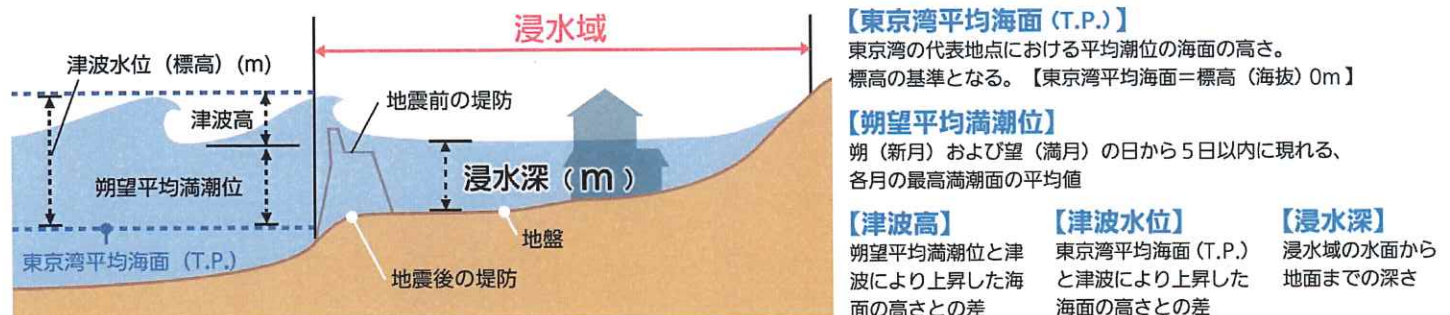
条件1 四国沖の南海トラフを震源域とするMw(※)9.1の地震により最大クラスの津波が発生 ※モーメントマグニチュード

条件2 地震発生時の海面は満潮時（朔望平均満潮位）とする

条件3 地震による海底地盤の沈降（地盤沈降量）を考慮する

条件4 液状化による陸域の沈降量を考慮する

条件5 堤防や防波堤は破壊され機能しない(※) ※コンクリート構造物は100%、盛土構造物（土で築造された堤防等）は75%沈下、津波が堤防などを乗り越えた場合は破壊

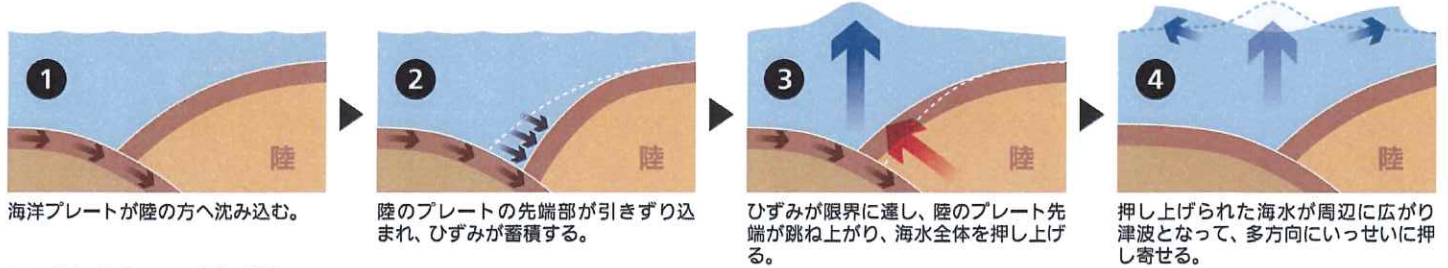


注意していただきたい事項

- このハザードマップは、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表しています。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に計算したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- このハザードマップの浸水域や浸水深は津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響、地震による地盤変動、構造物の変状などにより、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなる場合があります。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

津波発生のメカニズム

海底で地震が起こると、大量の海水が一度に大きく持ち上がり、津波となって沿岸までやってきます。



津波の特徴

津波はいくつかの特徴を持った災害です。津波の特徴を知り、いざというときのために準備をしましょう。

- 岬の先端やV字型の湾内、入り組んだ海岸は津波のエネルギーが集中し、波が高くなる可能性があります。
- 津波は川を遡り（遡上）、堤防を超えて陸地に津波が溢れます。
- 第一波より第二波、第三波のほうが大きくなる可能性があります。
- 1～2 mの津波で家屋の全壊、流失する可能性があります。
- 津波はガレキ等の漂流物を巻き込んで破壊力を増し、建物やときには防波堤さえも壊すことがあります。
- 20～30cm程度の津波でも立っていらなくなり、足をとられ波にさらわれます。
- 引いていく波の破壊力もすさまじく、陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。
- 津波は繰り返し襲って来ます。地震後6時間（最大12時間）は注意が必要となります。
- 津波は引き潮からはじまるとは限りません。
- 震源が近く、水深が深いほど津波は速く襲ってきます。早いときには揺れてから数分で襲ってきます。
- 基本的に地震の震度と津波の高さは比例します。

水深5000m 水深500m 水深50m 水深10m

800km/h 250km/h 110km/h 36km/h

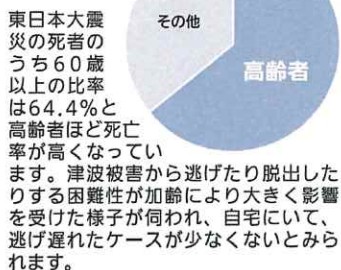
水深の深い沖合いではジェット機並みの速さ、沖合いでは新幹線並み、海岸付近ではオリンピック選手並みの速さになります。

水深が浅くなるにつれて波高は高くなり、沿岸での高さか1mでも数倍の高さまで陸上を駆け上ります。（遡上）

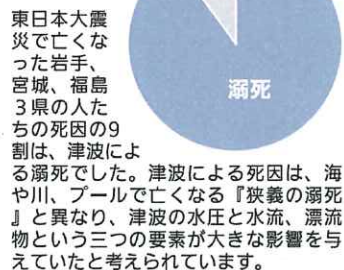
過去の津波による被害（東日本大震災からの教訓）

東日本大震災のときに起きた津波災害から学ぶことで、私たちの命を守るヒントがあるかもしれません。同じ失敗を繰り返さないように特徴的な事例を学びましょう。

死亡者の過半数は高齢者



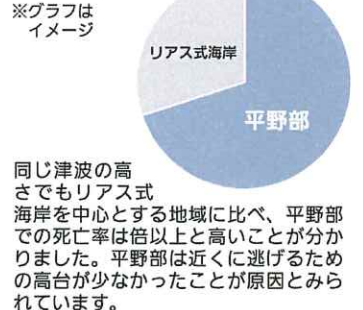
死因の9割は溺死



避難は率先して



平野部はリアス式海岸に比べ、死亡率が高い



このハザードマップを使って日ごろから津波に備えておきましょう。

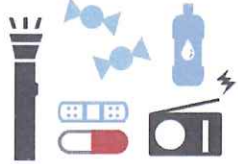
ハザードマップを 活用しよう！



このハザードマップは、南海トラフを震源とする地震により発生する最大クラスの津波から身を守るための情報が掲載されています。このマップを活用し、地震・津波に対する具体的なイメージをもって、その特性を正しく理解するとともに、正しい判断と行動をすることで、津波から命を守りましょう。



●津波災害に関する学習をしましょう。



●持出品を準備し、すぐに持ち出せるような場所に保管しましょう。



●海水浴や川遊びに出かけるときは携帯ラジオを持ち、近くの避難可能な場所を把握しておきましょう。



●防災訓練に参加し、地域における協力体制について話し合いましょう。



●家族で話し合い実際に避難場所まで歩いてみたり、我が家のハザードマップをつくりましょう。

家族が居る場所から近い避難所や連絡先を記入しておきましょう。

家族（親戚・知人など）の名前 電話番号（会社・学校・携帯） 備考

わが家の避難所

家族の集合場所

非常持出品の置き場所

災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認しましょう。

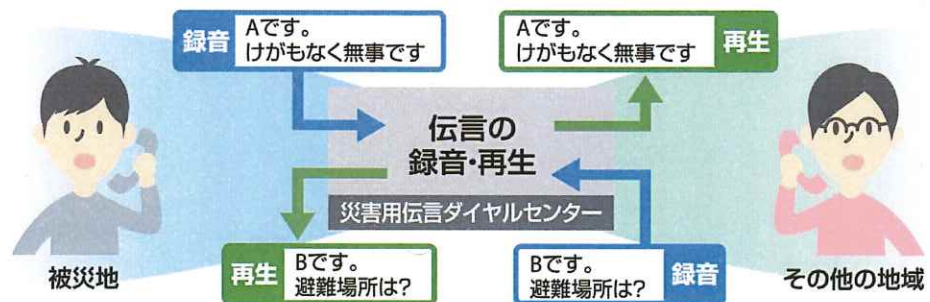
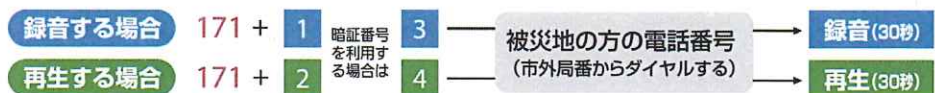
災害用伝言板（災害用伝言ダイヤル171/Web171）は、電話・インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板です。携帯電話、スマートフォン、パソコンなどからも利用することができます。

災害用伝言ダイヤル

171

災害用伝言ダイヤル171は、固定電話を利用した声の伝言板です。大規模な災害が発生した場合に提供を開始します。災害時は全国から被災地への電話がつながりにくくなります。もしものために、ぜひ覚えておいてください。

Web171（文字の伝言板）
<https://www.web171.jp>
 ※SoftBank, au, docomo等のキャリアごとにアクセス方法が異なります。



いざというときの連絡先



さぬき市役所 総務課 〒769-2195 さぬき市志度5385番地8
 電話：087-894-1111 FAX：087-894-4440
 電子メール：somu@city.sanuki.lg.jp

津波から命を守るために

ポイント マップで自宅や家族に関する場所の浸水深を確認しましょう。地震・津波から命を守るために、いざというときの行動や避難の方法を普段から想定し、適切に避難をしましょう。

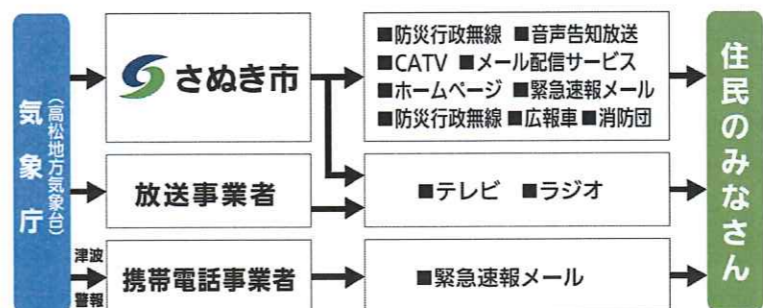


津波警報等の種類

気象庁は、地震が発生したときには地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分(一部の地震については最速2分程度)を目標に、大津波警報(特別警報)、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

	予想される津波の高さ		想定される被害	高さのイメージ	取るべき行動
	数値での発表(高さ予想)	巨大地震の場合の表現			
大津波警報(特別警報)	10m超(10m~)	巨大	木造家屋は全壊、流失し、多くのガレキや船舶なども陸上に押し流され、さらに多くの家屋が流失します。		マップの浸水域や海岸、川の近くに居る人はただちに近くの市が指定した広域避難場所や津波避難場所または高台などに避難する。
	10m(5m~10m)				
津波警報	5m(3m~5m)	高い	家屋の浸水被害や流出。木造家屋は2mの浸水で全壊、流出します。(内閣府データより)		広域避難場所
津波注意報	3m(1m~3m)				
	1m(20cm~1m)	表記しない	養殖いかだや流失し、小型船舶が転覆します。		津波避難場所

津波警報・注意報や避難情報等の伝達経路



災害時には速やかに様々な手段で住民のみなさんに情報が伝えられます。

緊急地震速報の伝達経路



インターネット等による情報入手

さぬき市の災害、避難、雨量や河川水位等の情報は、ホームページやメール配信サービスからでも情報を確認することができます。

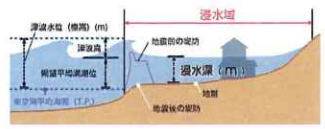
さぬき市ホームページ	http://www.city.sanuki.kagawa.jp/
さぬき市メール配信サービス(安全安心コミュニティー)	http://anshin.sanuki.ne.jp/
香川県防災情報ホームページ	http://www.pref.kagawa.lg.jp/bosai/
気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/index.html

海拔表示板



さぬき市津波ハザードマップ
Sanuki City TSUNAMI Hazard Map

このマップは、最大クラスの津波が襲来条件下(地震による堤防破壊、最も潮位が高い)において発生した場合に想定される浸水域と浸水深を表したものです。



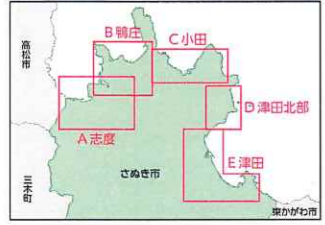
- 凡例**
- 避難所 (Evacuation site)
 - 広域避難場所 (Wide-area evacuation site)
 - 警察 (Police)
 - 防災行政無線 (Disaster prevention administrative radio)
 - 市役所・支所 (City office/branch office)

※印の避難所は、浸水域内またはその周辺に位置するため、状況に応じた開設となります。

津波の浸水想定区域(浸水深)
津波の浸水深が想定される区域

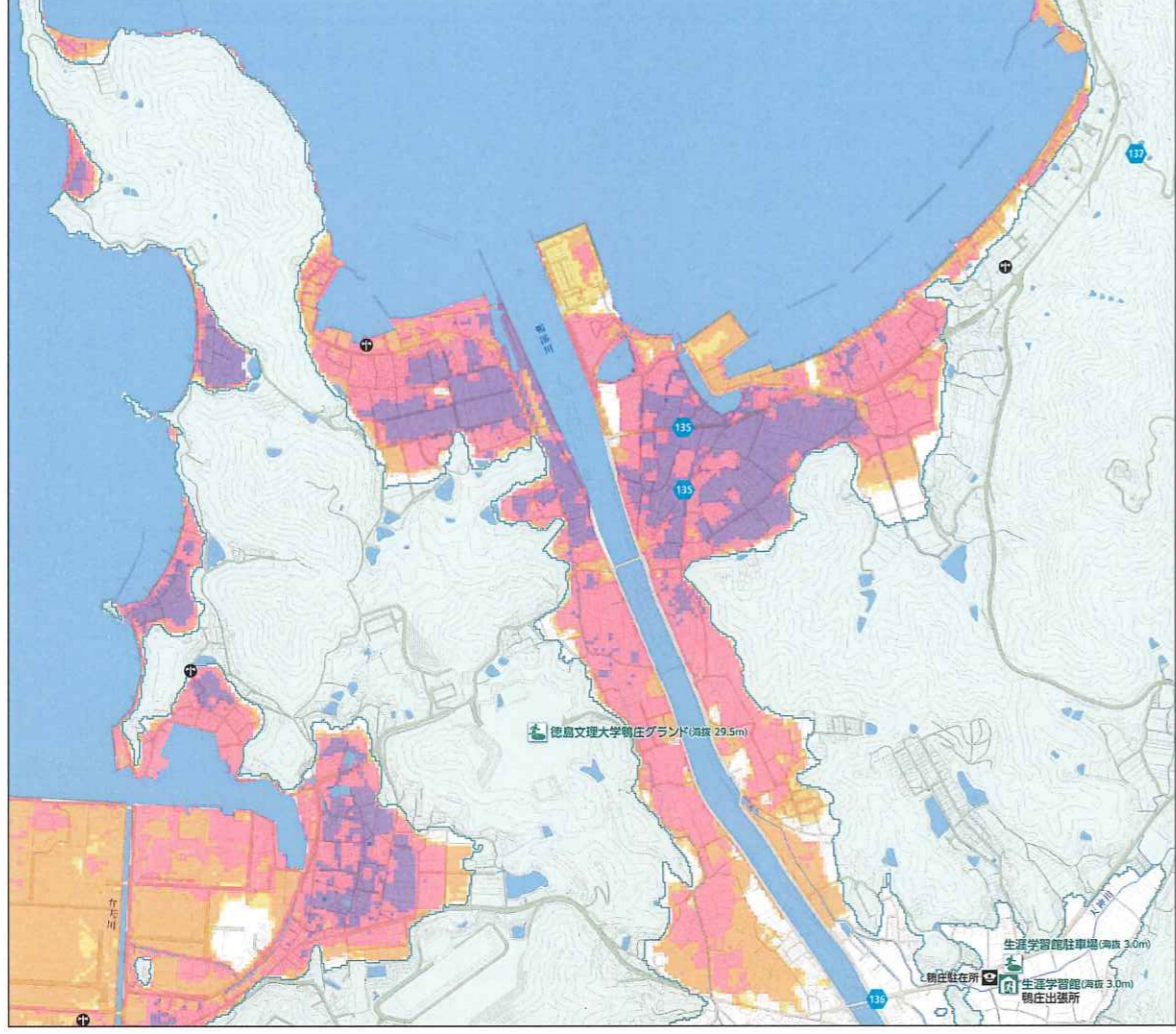
- 3-4m未満 (Less than 3-4m)
- 2-3m未満 (Less than 2-3m)
- 1-2m未満 (Less than 1-2m)
- 0.3-1m未満 (Less than 0.3-1m)
- 0.3m未満 (Less than 0.3m)

- 標高**
- 5m以上 (5m or more)
 - 5m未満 (Less than 5m)



1/10,000
0 100 200 300 400 500
500mを歩くのにかかる時間(平地)目安
歩行 約6分 自転車 約8分 車 約10分

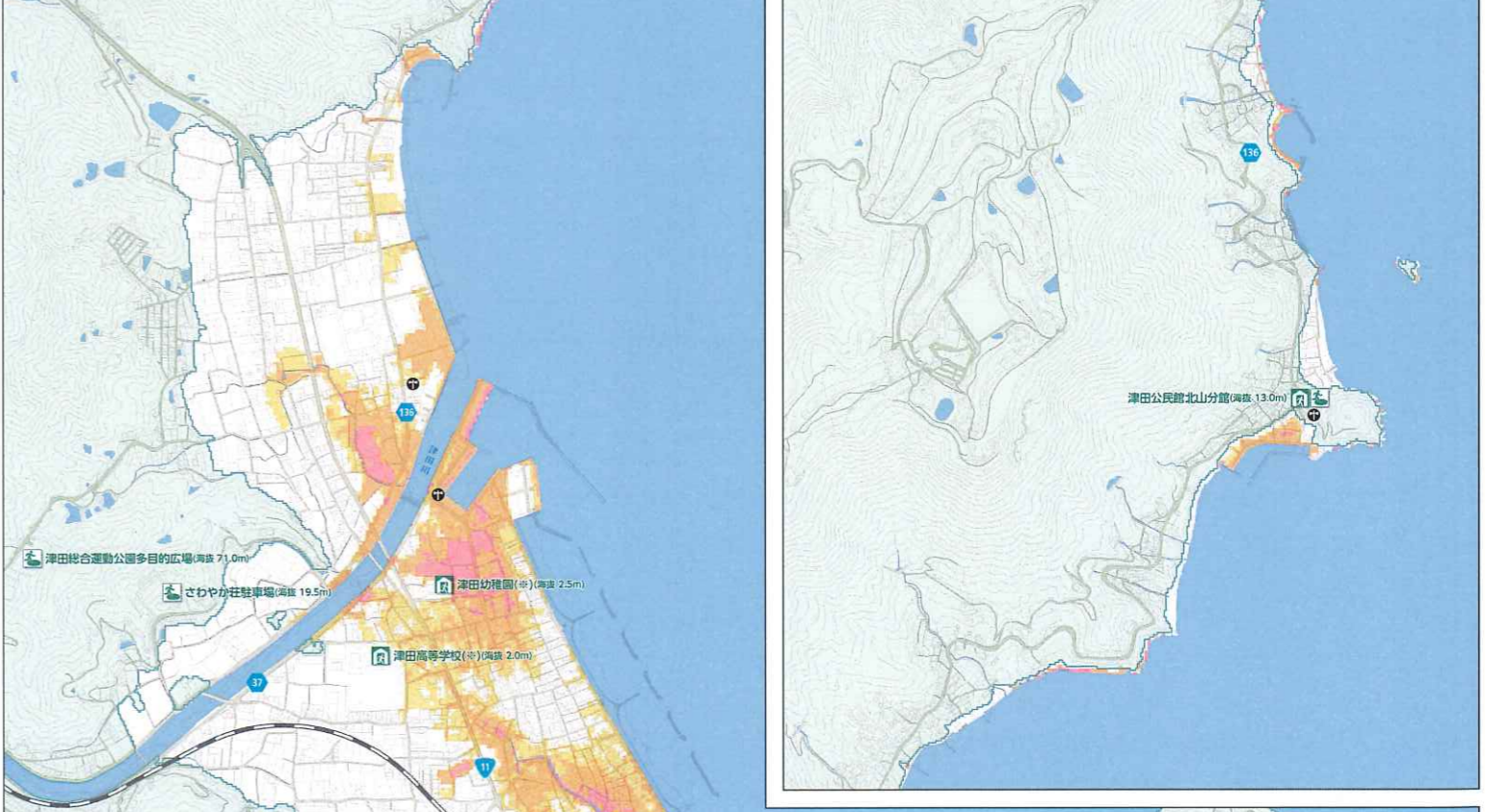
B 鴨庄エリア



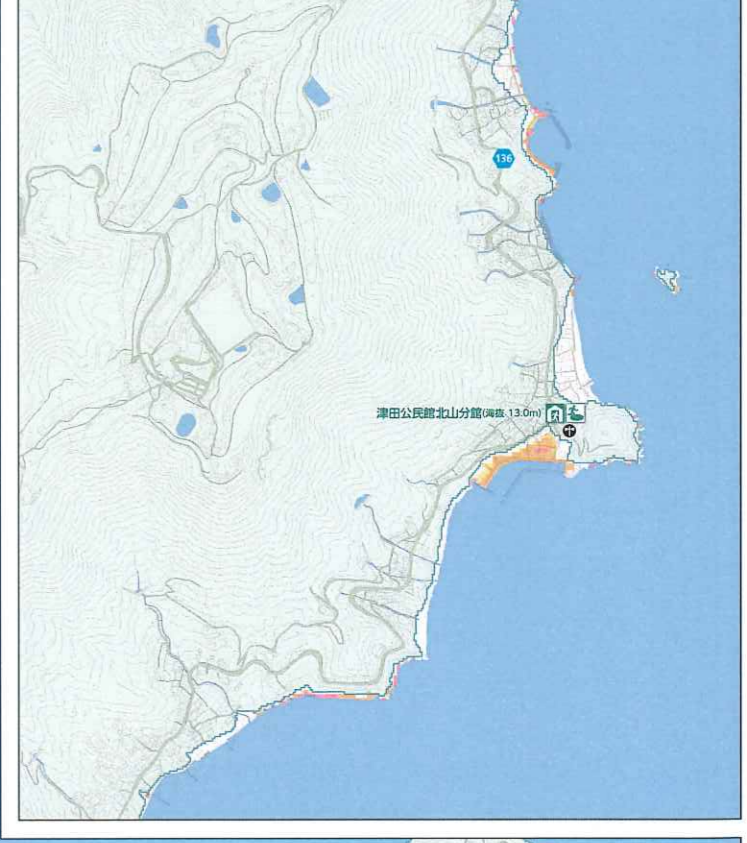
C 小田エリア



E 津田エリア



D 津田北部エリア



A 志度エリア

